



保育所だより



令和3年5月号
平田保育所
TEL 62-3207

春の暖かな陽気に誘われ、今年も花壇では牡丹が凛とした花を咲かせました。年齢の大きいクラスの子どもたちは所庭の遊具で遊んだり、鬼ごっこやサッカーなど戸外で体を動かしたりしています。また、新しいクラスの友だちとの関わりが広がり、名前を呼び合って友だちを誘う微笑ましい姿も見られるようになってきました。小さいクラスの子どもたちも、庭に出ると保育士と一緒にスコップで砂をすくったり、春の草花を触ったりして遊んでいますよ。気候のよいこの時期に、春の自然にたっぷり触れ、遊んでほしいと思っています。

朝夕の気温差があり、疲れが出やすい頃ですね。「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身につけて元気に過ごせるように、保護者の皆様と協力し合っていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

また、全国的に新型コロナウイルス感染症が流行し、緊急事態宣言が発表される地域も出てきています。保育所では、子どもたちと一緒に今後も手洗いうがいを行い、所舎内の消毒も行っています。



散歩(愛宕山)(ぞう組)



散歩(ぼんだ組)



こいのぼりの歌を歌いながら揚げました



散歩(こあら組)



散歩(ひよこ組)



所庭で砂遊び(いほ組)



散歩(うさぎ組)



(うさぎ組)



本館所庭

(こあら組)

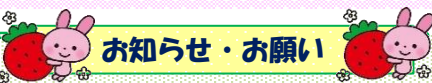


5月の行事予定 *印については後日詳しくおたよりします。

- 3日(月) 憲法記念日【祝日:休所】
- 4日(火) みどりの日【祝日:休所】
- 5日(水) こどもの日【祝日:休所】
- 10日(月) 身体測定週(～14日)
- 11日(火) 保護者会役員会(18:30～)
- 13日(木) わくわくデー【ぼんだ組:楽園クラブ交流】
- 14日(金) 誕生会
- 19日(水) 避難訓練
- 20日(木) 遠足【こあら・ぼんだ・ぞう組】*
弁当の日・集金日
- 24日(月) 巡回相談日【山田心理相談員来所】
- 25日(火) ぞう組りす組のびのびすくすくの日①*
- 26日(水) 5歳児交流保育【ぞう組:みなみ保育所へ】
- 27日(木) こあら組うさぎ組のびのびすくすくの日①*
わくわくデー【ぼんだ組:楽園クラブ交流】
- 28日(金) 布団持ち帰り
1・2歳児交流保育
【りす・うさぎ組:ひらた乳児保育園来所】
- 31日(月) ぼんだ組ひよこ組のびのびすくすくの日①*

6月の行事予定

- 4日(金) 節句会
- 7日(月) 個人面談(～7月2日)



お知らせ・お願い

●遠足(20日 こあら・ぼんだ・ぞう組)

今年度の春の遠足は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、所外保育等を計画していきます。詳細につきましては後日、おたりにてお知らせします。

●巡回相談日について

臨床心理士山田さん(出雲市子ども政策課心理相談員)に保育所へ来ていただき、子どもたちの様子を見ていただいたり、子どもたちへの支援の仕方について保育士が教わったりします。日にちにつきましては、保育所だよりの行事予定でお知らせします。

●玄関での消毒について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3～5歳児は玄関での受け入れを皆様をお願いしています。玄関には消毒液を置いていますので、登降所の際は**保護者の方、お子さん共に消毒を**していただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



室内遊び(いほ組)



ひもとあし(うさぎ組)



花壇に
ボタンの花が
咲きました

保育目標 ●春の自然に触れて遊ぼう ●戸外でのびのびと遊ぼう

所庭や散歩先で草花に触れたり、虫探しをしたりして遊びます。実際に触れてみることで春ならではの生き物や植物を知ったり、それぞれの年齢に応じて、発見する喜びを感じたりできるようにします。そして、不思議に思ったことを一緒に考え、思考力の芽を育てます。

また、友だちや保育士と一緒に戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わいます。

生活目標 ●生活リズムを整え元気に過ごそう

4月の進級・入所ではりきっていた子どもたちも、休日が続くと生活リズムが崩れてしまいがちです。早寝早起きを心がけたり、休息と遊びのバランスを考えたりし、健康管理に気をつけましょう。

「♥子育て通信♥」

～楽しく健康的にメディアを利用しよう～

入所・進級から一か月がたちましたね。そして、これからゴールデンウィークがやってきます。全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大防止が呼びかけられ、昨年に引き続いて思うように外出ができないお休みとなりそうですね。お休みが続くと子どもたちのメディアの利用も増えがちになるのではないのでしょうか。

ユーチューブやゲーム等のメディアを長時間利用すると脳にドーパミンという物質が出ます。毎日多量のドーパミンが出ると、より長い時間ゲーム等をしないと満足できなくなり、時間のコントロールも難しくなるそうです。そのため、**低年齢からの過度なネットやゲームの利用はゲーム依存症になりやすく、重症化しやすい**と言われています。

私たちの生活はたくさんのメディア機器に囲まれています。小中学校でICT教育が導入されるこれからの社会で生きていく子どもたちにとって、ネット・メディアとの上手な付き合い方を身につけることは、健康で安全な生活を送ったり、確かな学力や生きる力を身につけたりするためにとても大切です。

このお休みの機会にお子さんと一緒にルールを決めてみてはいかがでしょうか。子どもの成長に合わせてルールは見直していき、守れるものにするのがポイントだそうですよ。そして、ルールを家族で知らせ合い、見えるようにし、守れたら褒め合うこともメディアとの付き合いを続けていくために大切なのだそうです。

ネットやゲームだけでなく、親子で楽しめることを増やしていきたいですね。
(小豆島町子ども教育課発行文書参照)

ご寄贈ありがとうございました

～保護者様～タオル・古布・紙おむつ

職員出張関係(△は午後からの研修)

- 12日 キャリアアップ研修～岡恭子(14日まで)
- 19日△出雲市保協定期総会～山根順子・大菅
- 21日△出雲市就学相談説明会～來海・伊藤
- 30日 発達障がい基礎講座～川瀬奈津希